

心臓1：不整脈

日時：8月30日（金） 2時限

担当者：加藤 律史(国セ 心臓内科)

内容：

徐脈性不整脈の心電図診断ができ、治療法を理解する。

1. 洞徐脈
2. 洞不整脈
3. 洞機能不全症候群
4. 脚ブロック、ヘミブロック
5. 房室ブロック
6. ペースメーカー植込み適応
7. ペースメーカーの種類

頻脈性不整脈の心電図診断と治療法を理解する。

1. 洞頻脈
2. 上室性期外収縮
3. 心室期外収縮
4. 心房細動
5. 心房粗動
6. 発作性上室性頻拍
7. WPW 症候群、房室結節回帰性頻拍、心房頻拍
8. 心室頻拍
9. 心室細動
10. 心室細動
11. 電気生理学検査、カテーテルアブレーション治療
12. 抗不整脈薬

キーワード：

徐脈性不整脈、洞機能不全症候群、ヘミブロック、ペースメーカー

頻脈性不整脈、上室性期外収縮、心室期外収縮、心房細動、心房粗動、発作性上室頻拍、WPW 症候群、心室頻拍、心室細動、QT 延長症候群

参考書：

◆ 心電図の読み方パーフェクトマニュアル、Electrocardiography A to Z など

準備：

3年時の心電図授業と不整脈授業の復習（30分）

心臓2：成人の先天性心疾患

日時：8月30日（金） 3時限

担当者：岩永 史郎(国セ 心臓内科)

内容：

成人先天性心疾患に関する医師国家試験問題に解答できるようになるための講義です。

1. 単純シャント性心疾患(心房中隔欠損症・心室中隔欠損症・動脈管開存症)の病態と診断について説明できる。
2. ファロー四徴症の病態と診断について説明できる。
3. 肺動脈弁狭窄、先天性大動脈二尖弁の病態と診断について説明できる。
4. Ebstein 病の病態と診断について説明できる。
5. アイゼンメンジャー症候群の病態と診断について説明できる。
6. 心室中隔欠損症の合併症について説明できる。

各疾患の病態を理解して、心電図、心エコー図検査、CTなどの画像診断法について学びます。

キーワード：

心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存症、ファロー四徴症、肺動脈弁狭窄、Ebstein 病、アイゼンメンジャー症候群

準備：

資料を当日に配布します。

心臓 3：感染性心内膜炎

日時：9月4日（水） 1 時限

担当者：山本 啓二(総合診療内科)

内容：

症例を通じて感染性心内膜炎について理解する。

1. 感染性心内膜炎
 - 1) 病因、基礎心疾患
 - 2) 起因菌
 - 3) 臨床症状
 - 4) 診断
 - 5) 治療、内科治療の原則、外科治療の適応
 - 6) ハイリスク例での予防法
2. 急性と亜急性細菌性心内膜炎

キーワード：

感染性心内膜炎、疣腫、発熱、心雑音、心エコー、血液培養、Duke 臨床的診断基準

★コアカリ：D-5-4)-(5) 心筋・心膜疾患 ④

準備：

予習：感染性心内膜炎について 3 年循環器の授業プリントを読んでおいてください。特に Duke 臨床的診断基準を再確認しておいてください。(20 分)

復習：感染性心内膜炎について A4 一枚に記載する。(15 分)

心臓 4：心筋疾患

日時：9月4日（水） 2 時限

担当者：池田 礼史(国セ 心臓内科)

内容：

心筋症の分類と病態、治療について理解する。

1. 肥大型心筋症
2. 閉塞性および非閉塞性
3. 拡張型心筋症
4. 拘束型心筋症

*それぞれの病因、症状、理学所見と鑑別診断及び治療

1. 1) 検査所見

心電図：肥大型心筋症における左室肥大、異常 Q 波

心エコー所見：肥大型心筋症における ASH・SAM、拡張型心筋症における左室拡大と駆出率低下、拡張能低下

心臓カテーテル検査：閉塞性での Brockenbrough 現象、拡張型心筋症と拘束型心筋症の鑑別、虚血性心疾患による心不全と拡張型心筋症の鑑別、拘束型心筋症と収縮性心膜炎との鑑別診断

予後：心臓突然死、心不全死

治療：ACE 阻害薬、 β -ブロッカー、利尿剤、心臓移植の適応基準

キーワード：

肥大型心筋症、閉塞性、拡張型心筋症、拘束型心筋症、A S H・S A M、拡張能低下、Brockenbrough現象、ACE 阻害薬、 β -ブロッカー、利尿剤、心臓移植

準備：

肥大型心筋症、拡張型心筋症について学んでおきましょう。(30 分)

心臓 5：虚血性心疾患

日時：9 月 6 日（金） 3 時限

担当者：岩永 史郎(国セ 心臓内科)

内容：

医師国家試験受験のための講義であり、テーマは虚血性心疾患(冠動脈疾患)と動脈硬化です。

1. 狭心症と心筋梗塞の病態と症状について説明できる
2. 虚血性心疾患(冠動脈疾患)の診断法について説明できる
3. 急性心筋梗塞の診断と合併症について説明できる
4. 冠動脈危険因子と冠動脈疾患二次予防について説明できる

キーワード：

急性冠症候群、労作性狭心症、不安定狭心症、急性心筋梗塞、胸痛、心電図異常、心筋逸脱酵素、心破裂、心室中隔穿孔、乳頭筋不全、致死性心室不整脈、房室ブロック、冠動脈危険因子

教科書：

◆ 特になし

参考書：

◆ 特になし

備考：

資料を当日に配布します。

準備：

1. これまでの循環器講義の内容を復習する。
2. BSL や CC における心臓内科病棟での実習内容を思い出す。
3. 過去の医師国家試験における問題を予習しておく。(30 分)

心臓 6：心臓弁膜症と心不全

日時：9 月 11 日（水） 2 時限

担当者：神山 哲男(総セ 心臓内科)

内容：

心臓弁膜症の病態を理解し、心臓弁膜症による心不全へのアプローチを学ぶ。

1. 有症候性の各弁膜症について、その病態生理を説明できる。
2. 各弁膜症の病因を列举できる。
3. 各弁膜症の身体所見・聴診所見について述べられる。
4. 各弁膜症の検査所見とその意義について述べられる。
5. 心不全をきたした各弁膜症の評価とその治療方針について述べられる。

準備：

心不全、弁膜症の系統講義と B S L の復習をしておいてください（目安：120 分）。

心臓 7：脈管疾患

日時：9 月 11 日（水） 6 時限

担当者：吉武 明弘(国セ 心臓血管外科)

内容：

1. 大動脈疾患の診断、手術適応、治療法について理解する。
 - 1) 大動脈瘤の解剖学的分類（真性、解離性、仮性）について説明できる。
 - 2) 典型的な画像から、大動脈疾患の診断ができる。
 - 3) 大動脈疾患の手術適応が説明できる。
 - 4) 大動脈疾患に対する主な治療法を説明できる。
 - 5) 大動脈疾患の術後合併症に関して説明できる。
2. 急性大動脈症候群（大動脈解離、大動脈瘤破裂）および上大静脈症候群について理解を深める。
 - 1) 典型的な画像から、急性大動脈疾患の診断ができる。
 - 2) 緊急手術を要する大動脈疾患について説明できる。
 - 3) 大動脈解離の病型分類を説明できる。
 - 4) 急性大動脈疾患に対する主な治療法を説明できる。
 - 5) 上大静脈症候群の病因、治療法を説明できる。

キーワード：

大動脈瘤、大動脈解離、上大静脈症候群

準備：

予習：キーワードについて調べる。（20 分）